

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—24056

⑬ Int. Cl.³
E 04 D 13/03
13/14

識別記号

庁内整理番号
6922—2E
6922—2E

⑭ 公開 昭和58年(1983)2月12日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ 採光窓の水切板装置

⑯ 特 願 昭56—121539

⑰ 出 願 昭56(1981)7月31日

⑱ 発 明 者 深見彰弘

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑲ 発 明 者 中島泰博

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑳ 出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

㉑ 代 理 人 弁理士 宮井暎夫

明 細 書

1. 発明の名称

採光窓の水切板装置

2. 特許請求の範囲

屋根の採光窓の周囲で野地板上に載せられる平板部分と、この平板部分の内周から立上り形成されて前記採光窓の窓枠の外周面に嵌合する環状の立上りフランジと、この立上りフランジの前記屋根の棟側で前記平板部分に突設されて前記立上りフランジの全幅から棟側に突出する三角形の水ガイド突部と、前記平板部分の両側縁から上側に折返された水返し片とを一体に形成した採光窓の水切板装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明は採光窓の水切板装置に関するものである。

従来、スレート瓦屋根に採光窓を取付ける場合、第1図のように窓枠1の外周に板金2を設けて雨仕舞としていた。窓枠1は木製の下枠1aと金属製の上枠1bからなり、上枠1bにパッキン3を

介して窓ガラス4が嵌込まれている。5は野地板である。しかし、窓枠1の屋根の棟側において、上方より流下してきた雨水が同図に破線mで示すように板金2に沿って跳ね上り、板金2より内部に浸入するという問題があった。また、板金2は現場で加工されるものであるため、施工が煩雑であり、板金の継ぎ目から雨水が漏れたりするという問題があった。

したがって、この発明の目的は、確実な雨仕舞機能が得られ、かつ現場での施工が簡単な採光窓の水切板装置を提供することである。

この発明の一実施例を第1図ないし第5図に示す。すなわち、この採光窓の水切板装置6は、金属製薄板を一体に絞り加工し、あるいは樹脂により一体に成形したものであり、屋根の採光窓7の周囲で野地板5(第1図)上に載せられる矩形の平板部分8と、この平板部分8の内周から立上り形成されて前記採光窓7の窓枠1(第1図)の外周面に嵌合する矩形環状の立上りフランジ9と、この立上りフランジ9の前記屋根の棟側の前記平

板部分 8 から盛上り前記立上りフランジ 9 側に広がる三角山状の水ガイド突部 10 と、前記平板部分 8 の両側縁および傾側の側縁から上側に折返された水返し片 11 とを有している。平板部分 8 には下端部を除いてスレート瓦 12 が被せられる。

このように構成したため、屋根の傾側から流下してきた雨水は、第 2 図に矢印 α で示すように水ガイド突部 10 で採光窓 7 の両側へ案内される。そのため、第 1 図で説明したような跳上りによって立上りフランジ 9 よりも内方に雨水が浸入するということがない。平板部分 8 の上を流れる水は両側の水返し片 11 で広がりが阻止されるので、雨水がスレート瓦 12 の下に入り込むということがない。また、この水切板装置 6 は全体が一体に形成されたものであるから、従来のように継目から雨水が漏れるという問題がない。一方、この水切板装置 6 は窓枠 1 に嵌込むだけで板金工事が完了するので、現場での施工時間が短縮される。

第 6 図は他の実施例を示す。すなわち、水ガイド突部 10' が片流れ状に形成されている。このよ

(3)

図のⅣ-Ⅳ線断面図、第 5 図は第 3 図のⅤ-Ⅴ線断面図、第 6 図は他の実施例の斜視図である。

1 … 窓枠、5 … 野地板、6 … 水切板装置、7 … 採光窓、8 … 平板部分、9 … 立上りフランジ、10、10' … 水ガイド突部、11 … 水返し片

代 理 人 弁 理 士 宮 井 睦 夫



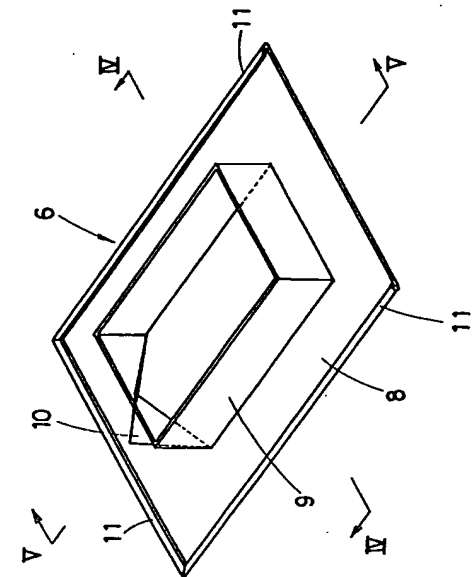
うに形成した場合も、傾側から流下してくる雨水を採光窓 7 の両側へ案内することができ、雨水の跳ね上りによる立上りフランジ 9 内への浸入を防止することができる。その他は第 1 の実施例と同様である。

以上のように、この発明の採光窓の水切板装置は、屋根の採光窓の周囲で野地板上に載せられる平板部分と、この平板部分の内周から立上り形成されて前記採光窓の窓枠の外周面に嵌合する環状の立上りフランジと、この立上りフランジの前記屋根の傾側で前記平板部分に突設されて前記立上りフランジの全幅から傾側に突出する三角山状の水ガイド突部と、前記平板部分の両側縁から上側に折返された水返し片とを一体に形成したものであるから、確実な雨仕舞機能が得られ、しかも現場施工が簡単という効果がある。

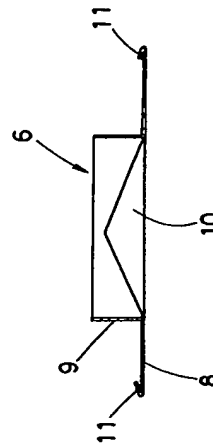
4. 図面の簡単な説明

第 1 図は従来の採光窓雨仕舞の断面図、第 2 図はこの発明の一実施例の屋根設置状態の斜視図、第 3 図はその水切板装置の斜視図、第 4 図は第 3

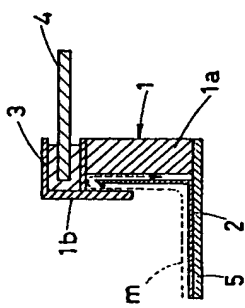
(4)



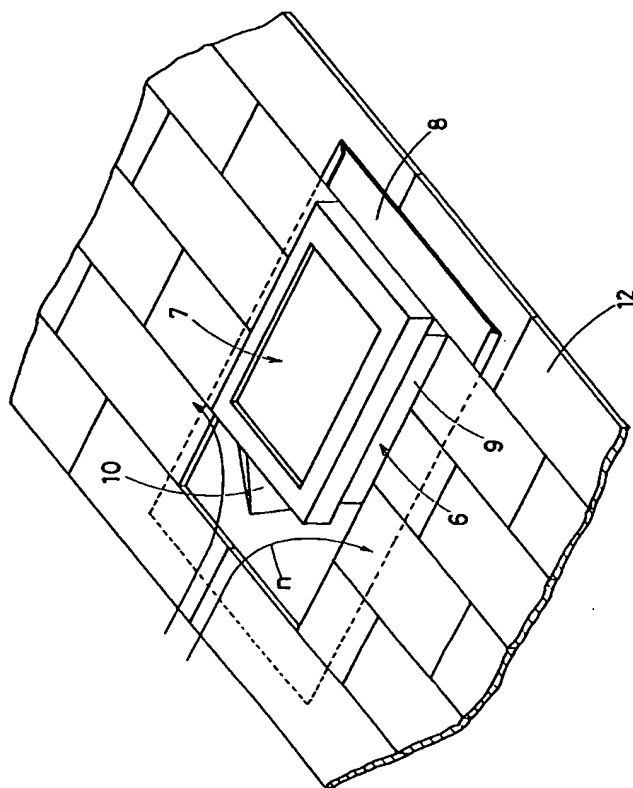
第 3 圖



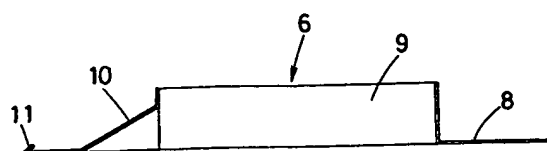
第 4 圖



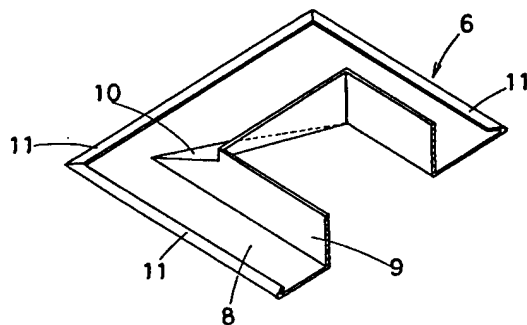
第 1 圖



第 2 圖



第 5 図



第 6 図